

パパイヤリングスポットウイルス抵抗性パパイヤ 55-1 系統の概要

項 目	概 要
品 種	パパイヤリングスポットウイルス抵抗性パパイヤ 55-1 系統
申請者	ハワイパパイヤ産業協会
開発者	コーネル大学、ハワイ大学、アップジョン社、 米国農務省研究機関/USDA
製品の概要	パパイヤにパパイヤリングスポットウイルス (PRSV) に由来する外被タンパク質 (CP) 遺伝子を導入することにより、転写後遺伝子サイレンシング (PTGS) メカニズムが働き、PRSV による病害を受けずに生育できる。
宿 主	パパイヤ (<i>Carica papaya</i> L.)
導入遺伝子 (供与体)	PRSV CP 遺伝子 (パパイヤリングスポットウイルス HA5-1 株由来)
選択マーカー (供与体)	・カナマイシン耐性遺伝子 <i>nptII</i> (<i>Escherichia coli</i> トランスポゾン Tn5 由来) ・β-グルクロニダーゼ遺伝子 <i>uidA</i> (<i>Escherichia coli</i> プラスミド pUC19 由来)
新たに獲得された性質	パパイヤリングスポットウイルス抵抗性
可食部分に発現する遺伝子産物の発現量	果実の生組織重 1g あたり PRSV CP タンパク質： SunUp (親品種) 検出限界 (0.25 μg/g 生組織重) 以下 Rainbow (F1 交配品種) 6.3 μg